

MGU Chapel Letter

—第 25 号 2023 年 6 月 8 日— 発行：大学宗教センター

* 2023 年度聖句 *

「あなたがたの内に働いて、御心のままに望ませ、
行わせておられるのは神であるからです。」

フィリピの信徒への手紙 2 章 13 節



❖ リマインダー：

キリスト教教育特別集会在 6 月 13 日に開催されます！

- ▶ 6 月 13 日 (火) 13:00~14:30 (この時間帯は全学休講)
- ▶ 場所：大学講堂
- ▶ 講師：山岡万里子先生
ノット・フォー・セール・ジャパン (NFSJ) 代表
- ▶ タイトル：「遠くて近い、『人身取引』の話」

集会では、音楽科の合唱履修生による賛美合唱も予定されています。指揮は音楽科特任教授の船橋洋介先生です。曲目は下記の通り。

ゲオルク・フィリップ・テレマン (ドイツ、1681 年~1767 年)
Heilig ist Gott, der Herr 聖なるかな

フェリクス・メンデルスゾーン (1809 年~1847 年)
“Elias” —Lift Thine Eyes
オラトリオ『エリヤ』から 「山に向かいて目をあげよ」

～ 貴重な講演と素晴らしい音楽をお楽しみ下さい ～

❖ 山岡万里子先生の翻訳書 3 冊を

礼拝堂入口ホールで展示中！！（6月6日～28日）

キリスト教教育特別集会講師の山岡万里子先生は、これまで人身取引の問題について3冊の本を翻訳されています。礼拝堂入口ホールでは、これらの本の展示を行っていますので、ぜひご覧下さい。展示されているのは、デイヴィッド・バットストーン著『告発・現代の人身売買 奴隷にされる女性と子ども』（朝日新聞出版、2010年）、モニーク・ヴィラ著『現代の奴隷—身近にひそむ人身取引ビジネスの真実と私たちにできること』（英治出版、2022年）、シドハース・カーラ著『性的人身取引—現代奴隷制というビジネスの内側（世界人権問題叢書、明石書店、2022年）です。

特に『現代の奴隷』には、マフィアにだまされて東京に送られ、売春を強制されていたコロンビア人女性の生々しい体験談も記されており、衝撃的です。「人身取引をされるということは、心にタトゥーを刻まれることです。誰からも見えなけれど、いつもそこにあるのです」（97頁）との言葉は、この日本で受けた暴力のトラウマに基づくものであるために、私たちの心を揺さぶります。

社会の実態を知り、問題解決に向けて自分たちに出来ることを考えて行くために、これらの本を読んで知識を得ましょう。展示は6月28日（水）まで。



✿ クイズ（答えはこのページ下）

1569年、ポルトガル人宣教師ルイス・フロイスは、日本でのキリスト教布教の許可を得るために織田信長を訪ねます。その時にフロイスが信長に贈った菓子は、今でも日本で食べられています。その菓子とは？

カステラ マシュマロ コンパイ糖 ワッフル

✦ 聖歌隊・ハンドベルクワイアが礼拝で演奏します！

6月16日（金）の大学礼拝は、聖歌隊による賛美合唱が中心になります。メインとなる讃美歌は424番「美しい大地は」。フィリピンの女性が作詞したこの歌は、神が恵みとして与えた大地を、欲にまみれた人間たちが破壊している現状を嘆き、分かち合い助け合う世界に戻すことを求めます。普段の讃美歌とは違う雰囲気味わって下さい。なお、前奏で歌われる讃美歌422番「主よ、この時代に」は、中世のラテン語聖歌を宗教改革者マルティン・ルターがドイツ語に訳し、編曲したものです。

6月19日（月）の大学礼拝では、ハンドベルクワイアが「いつくしみふかい」など2曲の作品を賛美演奏します。その後に松本周先生（一般教育部）が「ハンドベルの特徴」と題してメッセージを話して下さる予定です。天上の響きのようなハンドベルの音色をじっくり味わいましょう。



クイズの答え： コンパイ糖

この言葉自体、Confeito というポルトガル語から来ています。

【連絡先】 宮城学院キリスト教センター

TEL：022-279-9558

Email：christ-c@mgu.ac.jp